

I 令和6年度事業報告書及び事業報告の附属明細書

(I) 事業体系

公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団は、アジア太平洋博覧会-福岡'89の成功を記念するとともに、福岡市の特性を生かした国際交流活動を行うことにより市民一人ひとりが多様性を認め合いながら国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現に寄与し、もって、地域の発展と国際平和に貢献するという目的の達成に向けて、次の4つの事業を実施した。

① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業(23,542千円)

福岡アジア文化賞の共催及びアジア太平洋こども会議への助成を行った。

② 市民の国際交流を促進する事業(7,668千円)

市民の国際理解・国際協力への意識の高揚を図り、国際交流を推進するため、ボランティア交流推進、語学等を通じた国際理解、国際交流団体のネットワーク推進等を行った。

③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業(86,942千円)

外国人にも住みやすく活動しやすいまちにするため、窓口相談や各種情報提供をはじめ、在住外国人等への支援を行った。

また、福岡都市圏で学ぶ外国人学生が安心して勉学に励むことができるように、留学生宿舍の管理運営や外国人学生支援を行った。

④ グローバル人材を育成する事業(25,078千円)

国際社会で活躍できるグローバル人材を育成するため、奨学金の支給や留学生と企業との交流サロン等を行った。

(2) 事業報告

① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

ア 福岡アジア文化賞(22,042千円)

アジアの文化の価値を認識し、その文化を守り育てるとともに、アジアの人々が相互に学び合いながら、幅広く交流する基盤をつくることに貢献することを目的とし、秋篠宮皇嗣同妃両殿下に御臨席を賜り、アジアの固有かつ多様な文化の保存と創造に顕著な業績をあげた3名の功績を顕彰した。

また、市民フォーラム、学校訪問を開催し、多くの市民の方々に参加をいただいた。

○第34回授賞式 令和6年9月26日、福岡国際会議場メインホール

	大賞	学術研究賞	芸術・文化賞
受賞者	真鍋大度氏(日本/アーティスト、プログラマー、DJ)	スニール・アムリス氏 (米国/歴史学者)	キムスージャ氏 (韓国/アーティスト)
市民フォーラム	令和6年9月27日 「身体と機械の関係性に 着目したアート」(会場: UNITEDLAB メインホ ール、参加者数:270名)	令和6年9月28日 「『ベンガル湾』の歴 史、そして私たちにとっ ての『環境問題』の未 来」(会場:アクロス福 岡4階国際会議場、参 加者数:100名)	令和6年9月28日 「縫う、包む、解く―キ ムスージャの世界観」 (会場:福岡アジア美術 館 あじびホール、参 加者数:110名)
学校訪問	令和6年9月27日 福岡市立舞鶴小学校	令和6年9月25日 福岡雙葉高等学校	令和6年9月27日 福岡市立内浜中学校

○主催 福岡市、(公財)福岡よかトピア国際交流財団

イ「アジア太平洋こども会議・イン福岡」助成(1,500千円)

アジア太平洋各地のこどもたちとの異文化交流による国際理解を推進するため、「BRIDGE KIDS PROGRAMS 2024」への助成を行った。

○BRIDGE Summer Camp(招へい型事業)

世界30以上の国や地域から11歳のこども大使、シャペロン(引率者)等226名が来福。7月12日から23日までの12日間に渡り、「オリエンテーションプログラム」や「スクールビジット」、「ホームステイプログラム」、「パフォーマンスイベント」等、福岡のこども達や市民らと触れ合う異文化交流を行った。

参加国・地域 33か国・地域

参加者数 226名

○主催 NPO法人アジア太平洋こども会議・イン福岡(APCC)

② 市民の国際交流を促進する事業

ア 国際交流活動助成事業(926千円)

福岡市民の国際交流を支援し、福岡市のさらなる国際化及び多文化共生社会の実現を推進するため、国際交流事業と国際交流活動に資する人材を育成する事業に対して助成を行うもので、令和6年度は国際交流事業を実施する4団体に助成を行った。

○国際交流事業助成

市民の国際交流、国際理解、国際協力、多文化共生社会の実現等に寄与する事業を行う経費として、20万円を上限に助成(対象経費の5割以内)。

- ・応募件数 6件
- ・採択件数 4件
- ・助成金額 800千円(200千円×4団体)

イ 外国人支援ボランティアバンク(654千円)

地域住民と外国人との相互理解、国際交流を促進し、多文化共生社会の実現に寄与することを目的に令和3年度に「外国人支援ボランティアバンク制度」を創設した。

令和6年度から3年間活動するボランティアに対し、語学レベルチェックを行うとともに、ボランティア活動年齢を18歳以上から15歳以上へ引き下げる等の事業の拡充を図り、依頼者のニーズに応じたよりきめ細かなボランティア派遣を行った。

- ・登録者数 224名
- ・登録言語数 16言語

(ア) ボランティアバンク活動内容

a ボランティア派遣

- ・派遣件数 52件
- ・派遣者数 延べ103名
- ・利用者数 延べ572名
- ・活動の例 福岡市立小中学校での通訳(入学式、修学旅行説明会、進路説明会、保護者面談等)
外国人のための入国・在留・国籍に関する相談会での通訳

b チューター制度

ボランティアが、年間を通して学校等からの配布物やその他郵便物等の簡単な翻訳、通訳及び日常生活の相談等に応じた。

- ・活動(利用)者数 11組
- ・活動月数 延べ26月

c ホームステイ、ホームビジットの受入

- ・利用件数 ホームステイ 9件
ホームビジット 2件

(イ) ボランティア研修

ボランティアを対象に通訳のスキル向上のための実務研修等を実施するとともに、研修を通じてボランティア相互の交流を促進し、ノウハウの共有による活動の質の向上を図るため、以下のとおり実施した。

内容		開催日	参加者数	備考
専門 研修	行政書士通訳実技研修	令和6年 6月 2日	17名	ロールプレイ
	行政書士相談会基礎知識研修	令和7年 2月23日	20名	オンライン
基礎 研修	福岡市における災害への備え	令和6年10月30日	4名	フィールドトリップ
	多文化共生研修	令和6年12月15日	12名	座学

ウ 語学等を通じた国際理解(5,709千円)

市民が外国語を習得する機会や、気軽に多様な文化に触れ、国際交流・国際理解を深める機会を提供した。

(ア) 留学生から学ぶ外国語教室

留学生を講師として、交流の有効な手段の一つである「言葉」の習得を手助けする外国語教室を開催した(福岡市共催)。

- ・開催期間 令和6年7月～令和7年2月
- ・内 容 中国語、韓国語、ベトナム語等9言語、12講座を実施
- ・定 員 各クラス16名
- ・講 師 福岡都市圏の大学・短大に在籍、または福岡市内在住の留学生
- ・受講者数 187名

(イ) フランス語講座

福岡市の姉妹都市であるフランス・ボルドー市との交流を促進するため、九州日仏学館と共催でフランス語講座を開催した。

- ・実 施 年4回(春、夏、秋、冬) 各3か月
- ・講 座 数 268講座
- ・受講者数 延べ2,251名
- ・主 催 九州日仏学館
- 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団

(ウ) 外国人による日本語スピーチコンテスト

外国人に日本語を学ぶことを奨励するとともに、日本人と外国人の相互交流・相互理解の場を提供するため、日本語スピーチコンテストを開催した。

また、コンテストの様様について、一定期間、動画配信を行った。

- ・開 催 日 令和6年10月27日
- ・会 場 福岡市科学館サイエンスホール
- ・出 場 者 17名(中国7名、ネパール3名、ミャンマー2名、インドネシア1名、韓国1名、シンガポール1名、フランス1名、メキシコ1名)

- ・来 場 者 175名
- ・動画配信 令和6年11月11日～令和7年6月30日（予定）
- ・視聴回数 14,653回（令和7年3月末時点）
- ・主 催 日本語スピーチコンテスト実行委員会
- 共 催 （公財）福岡よかトピア国際交流財団、福岡市

（エ）国際理解教育講師派遣

国際理解教育の担い手を育て、国際理解教育の推進に寄与することを目的として、福岡市内の小中学校等へ留学生等を派遣した。

- ・実施時期 令和6年4月～令和7年3月
- ・派遣回数 13校・14回（小学校11校12回、中学校1校1回、特別支援学校1校1回）
- ・参加者数 1,431名
- ・主 催 福岡国際理解教育講師派遣事業協議会

エ 国際交流団体のネットワーク推進等

地域の国際化の推進に寄与することを目的に、福岡都市圏の国際交流・協力を行う様々な団体間の連携を図る「福岡国際関係団体連絡会（FUKU-NET）」において、総会、連絡会及びパネル展を開催した。

- ・実施時期 総 会 1回（4月）
連 絡 会 4回（4月、7月、10月、1月）
パネル展 令和7年1月15日～21日
- ・主 催 福岡国際関係団体連絡会

オ 国際交流推進（378千円）

市民の国際交流の促進や外国人支援の強化を図るため、他機関・部門と連携して事業を実施した。

（ア）絵本でアジアを旅しよう

福岡アジア美術館が日本語で実施している「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」に当財団の登録ボランティアを派遣し、外国語による絵本の読み聞かせを行った。

- ・開 催 日 令和6年7月14日（中国）、11月10日（ベトナム）、
12月8日（インド）、令和7年2月9日（モンゴル）
- ・参加者数 合計147名（中国40名、ベトナム37名、インド32名、モンゴル38名）

（イ）がいこくご おはなし会

福岡市総合図書館及び早良図書館で、外国語（中国語、韓国語、ベトナム語、英語）による絵本の読み聞かせを行った。

- ・開 催 日 令和6年4月27日（中国語、韓国語）、8月10日（英語、ベトナム語）（総合図書館）
8月18日（中国語、韓国語、ベトナム）（早良図書館）
- ・参加者数 合計63名（総合図書館54名、早良図書館9名）

(ウ) 福岡市美術館やさしい日本語ツアー

福岡市美術館で、日本語を母語としない親子を対象に、やさしい日本語を使って常設展示室のツアーを行った。

- ・開催日 令和6年8月18日、11月17日
- ・参加者数 合計17名

(エ) 外国にルーツを持つ子どものための進路相談会

NPO法人とともに生きる街ふくおか、福岡YWCA他との共催で、外国にルーツを持つ子どものための進路相談会を実施した。

- ・開催日 令和6年7月13日
- ・相談者数 17組

(オ) 乳幼児ふれあい学級

奈良屋公民館で、英語で絵本の読み聞かせを行う「英語で遊ぼう」を開催した。

- ・開催日 令和6年8月27日
- ・参加者数 20名

(カ) やさしい日本語を使って国連職員と一緒にまちづくりをしよう

国連ハビタット福岡本部の職員を講師に迎え、小学4年生から中学3年生までを対象としたSDGsに関するワークショップを実施した。

- ・開催日 令和7年1月19日
- ・参加者数 13名

③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

ア 福岡市外国人総合相談支援センター(5,474千円)

在住外国人の生活にかかる様々な相談を受け付ける一般相談・情報提供、臨床心理士による心理カウンセリングの他、行政書士、弁護士による無料の専門相談を実施した。

(ア) 一般相談・情報提供

在留手続き、雇用、医療、福祉、出産・子育て、子どもの教育等の生活に係る様々な相談を、相談員(英語・中国語)及び相談支援員(ベトナム語、ネパール語、韓国語)が対面、電話等で対応し、関係機関への案内や情報提供を行った。

また、無料Wi-Fiの提供、語学学習情報等のパンフレット等の資料収集・提供のほか、ホームページやFacebook、LINEを活用した積極的な情報発信に取り組んだ。

- a 電話通訳サービス、タブレット及びポケトークを活用した23言語(やさしい日本語含む)での相談対応
 - ・相談者数 2,704名(来訪937、電話1,357、メール等410)
 - ※うち、外国人 1,844名(国籍不明者含む)
- b フリーダイヤルやLINEコールを活用した電話相談
 - ・フリーダイヤル 595件
 - ・LINEコール 38件

- c ホームページ(リビングイン福岡等)、Facebook、LINE による情報提供
 - ・ホームページアクセス数 394,445件(ページビュー数)
 - ・Facebook 情報発信件数 322件
 - ・LINE 友達登録件数 858件
 - ・LINE 情報発信件数 35件(VOOMI4、チャット投稿21)

(イ) 外国人専門相談

在住外国人の生活上の諸問題について、専門家による無料相談会を実施した。

	実施日数	相談者数	相談件数
外国人法律相談 (福岡県弁護士会)	18日	38名(15か国・地域)	46件
外国人のための入国・在留・ 国籍に関する相談 (福岡県行政書士会)	12日	105名(30か国・地域)	85件
外国人心理カウンセリング (臨床心理士)	129日	59名(18か国・地域)	280件

イ ウクライナ避難民支援員の配置(2,926千円)

来福したウクライナ避難民の生活支援等を行うため、引き続き、ウクライナ避難民支援員を配置した。

- ・福岡市内の避難民数 29世帯45名(令和7年3月末現在)
- ・相談件数 396件

ウ 外国人向け広報ラジオ番組

在住外国人に対し、財団が行う事業や福岡市国際会館の取組み等について、多言語ラジオ放送局・ラブエフエムを通じて、英語、中国語、韓国語、ネパール語及びベトナム語の5か国語による広報を行った。毎月いずれかの週の月曜日～金曜日、8:54～9:00に放送。

エ 在住外国人のための日常生活アドバイス

在住外国人の快適な生活を可能にするとともに、日本人住民と在住外国人双方の暮らしの安心感を高めるため、新たに福岡に来た外国人を対象とした自転車の交通ルール、ごみ出しルール等について、福岡市の出前講座を行った。

また、在住外国人を対象に、インターネット動画等による日本での生活に必要なルール、暮らしのヒントや防災知識について、情報提供を行った。

○出前講座実施回数、受講者数

- ・交通安全・防犯 8回、428名
- ・ごみ出しルール 4回、309名

オ 国際交流フロア及び留学生宿舎管理運営(66,354千円)

留学生及びその他の在住外国人と市民との交流、並びに国際交流の促進に資する事業を行う場の提供及び福岡都市圏の大学等に在籍する外国人学生に比較的安価で良質な住居の提供を行った。

(ア) 国際交流フロア(福岡市国際会館4階)

- ・利用件数 1,546件
- ・利用者数 13,864名

※「留学生から学ぶ外国語教室」を含む。

(イ) 留学生宿舎(福岡市国際会館5階～9階)

- ・世帯用宿舎(5階) 2K、5戸
- ・単身用宿舎(6階～9階) 1R、54戸

カ 外国人学生支援(392千円)

外国人学生が有意義な生活を送ることができる環境づくりを推進するため、日本語おしゃべり交流会、外国人学生が語る「ふるさとの街と福岡」講演会等を行い、外国人学生の生活の安心感向上へとつなげた。

(ア) 日本語おしゃべり交流会

オンラインで開催し、外国人学生の日本語学習支援と参加者間の相互理解を図った。

- ・実施回数 9回(12月と3月を除く毎月1回、8月は台風のため中止)
- ・参加者数 133名

(イ) 母語によるおしゃべり交流会

日本での生活・勉強における心配事等について、外国人学生が母語で語り合える場を設けた。

- ・開催日 令和6年11月3日
- ・参加者数 10名
- ・言語 中国語、ベトナム語、英語

(ウ) 外国人学生が語るふるさとの街と福岡(奇数月の第3木曜日)

福岡で暮らす外国人学生が、ふるさとの歴史や文化、自身の経歴などを日本語または英語で語るイベントを開催した。

- ・実施回数 5回 ※11月は講師の都合により中止
- ・参加者数 156名

(エ) 外国人学生歓迎交流事業

来福後間もない外国人学生が福岡の文化や歴史に触れたり、日本人や他の学生と交流する場を設けた。

- ・開催日 令和6年12月7日
- ・内容 臨海3Rステーション・ごみ処理工場見学、昼食(博多港国際ターミナル)、ベイサイドプレイス博多見学、博多港一周クルーズ
- ・参加者数 66名(留学生47名、日本人19名)

キ 地域における日本語教育の推進（1,603千円）

地域の日本語教室で在住外国人の日本語学習を支援するボランティアを養成する講座や、地域の日本語教室活動に有用な日本語学習支援等の情報提供、並びに外国にルーツを持つ子どもと保護者の支援を行った。

（ア）日本語教室の担い手となるボランティアの養成、日本語教室の支援

α 日本語ボランティアの養成

地域の日本語教室で在住外国人の日本語学習を支援するボランティアを養成する講座を実施し、講座修了生の日本語教室での活動促進を行った。

	対象者	内容	回数	受講者数
入門講座	日本語ボランティア活動の開始を希望する者	・日本語学習者の背景や多文化共生、異文化コミュニケーション等について ・外国語としての日本語や、やさしい日本語、日本語学習支援の方法や日本語教室で求められること等について	連続講座 全10回	46名
フォローアップ研修	日本語ボランティア入門講座修了者	・日本語の教え方や教室での活動について	連続講座 全4回	26名
スキルアップ研修	日本語ボランティア活動者	・多文化共生や日本語学習支援についての必要な知識	全3回 (単発講座)	延べ 70名

β 日本語教室支援

（a）よかトピア入門日本語クラス

- ・内 容 日本語ゼロ初級者を対象とした日本語教室
- ・実施回数 連続講座全8回を3回（延べ24回）
- ・受講者数 33名

（b）よかトピア日本語学習支援メール

- ・発信内容 地域の多文化共生推進や日本語ボランティア活動、教室運営等に有益な情報をメールで発信
- ・対 象 者 情報提供を希望するメーリングリストへの登録者（令和7年3月末現在：188名）
- ・発信回数 21回
- ・発信者数 延べ3,388名

（c）参考図書、教材の貸出し

福岡市国際会館4階国際交流フロアに日本語教育・学習、多文化共生等に関する参考図書コーナーを設置し、貸出しを行った。

- ・配架冊数 395冊（令和6年度受入 26冊）

c 日本語学習者及び日本語ボランティアへの情報提供

(a) にほんご Class Map の発行

福岡都市圏で開催されている日本語教室(65か所)の情報を提供

(b) 日本語教室検索システムの開設

令和7年3月、財団ホームページに「日本語教室検索システム」を開設。

日本語学習者や日本語ボランティアの活動支援を強化した。

(c) 日本語学習便利サイトを通じた情報提供

財団ホームページに、日本語学習に役立つウェブサイトのリンク集を

掲載し、日本語学習者への支援を行った。

(イ) 外国にルーツを持つ子どもと保護者の支援

外国にルーツを持つ子どもや保護者を対象に日本語教育を推進するとともに、子どもの居場所づくりを行った。また、「子どもを対象とした日本語教室」を支える人材の育成を図った。

	対象者	内容	回数	受講者数
夏休み親子 日本語教室	外国にルーツを持つ 小・中学生とその保 護者	日本語学習支援等	5回	47名 (保護者9、子ども10、ボランティア28)
冬休み親子 日本語教室			3回	31名 (保護者3、子ども12、ボランティア16)
日本語学習支援 者の研修会	外国にルーツを持つ 子どもへの日本語 教育に関わっている 人、関心のある人	外国にルーツを持つ 子どもの現状と課題お よび福岡市の日本語 学習支援について	1回	25名

ク 地域の国際交流(9,958千円)

日本人と外国人が同じ住民として互いを尊重し、協力し合う多文化共生社会の実現のため、地域での相互理解・国際交流の促進を目的に、共生コーディネーターが区役所や自治会等と連携し、交流事業を実施した。

(ア) 令和6年度の地域での国際交流事業実績

・実施件数 3件(百道浜公民館、金山公民館、西区役所)

・参加者数 119名

ケ 災害時における外国人支援(235千円)

災害時における在住外国人への情報提供等を円滑に行うため、福岡市との協定に基づき、福岡市が災害時に財団内に設置する「福岡市災害時外国人情報支援センター」の設置訓練、三者通話操作研修を福岡市国際部と合同で開催した。

・開催日 令和6年6月7日

・会場 福岡市国際会館4階

・参加者数 27名

④ グローバル人材を育成する事業

国際社会で活躍できるグローバル人材を育成するため、奨学金の支給や留学生と企業との交流サロン等を行った。

ア 福岡市国際財団奨学金（18,604千円）

福岡での就職・創業を希望する外国人留学生の学習環境を整え、留学生と市民、企業との交流の機会を増やし、地域の国際化と地元定着の促進に寄与するため奨学金の給付を行うとともに、就職に関する情報提供や助言、奨学生同士の情報交換や悩みを共有する場の提供、さらに面談を定期的に行い、学業や生活面についても、必要な支援を行った。

また、財団からの奨学金を受給していることや福岡とのつながりを強く感じてもらうため、財団が実施する市民や企業との交流事業や地元企業でのインターンシップ等への参加を義務づけ、福岡への定着（創業・就職）実現に向けたサポートを行った。

- ・給付金額 50,000円／月
- ・給付人数 31名
- ・給付対象期間 学部生4年間／修士2年間

イ 留学生育英奨学金（4,500千円）

福岡都市圏で学ぶ留学生が安心して勉学に励むことができる環境づくりを、生活資金面から支援するため、団体や企業、個人からの寄付金により奨学金の給付を行った。

- ・給付金額 大学院生 年額500,000円以上
学部生他 年額300,000円以上（寄付者の希望により決定）
- ・給付人数 10名
- ・給付対象期間 1年間から（寄付者の希望により決定）
- ・寄付者数 団体4、個人4

ウ 日本人大学生留学奨学金（スタートアップ奨学金）（1,282千円）

日本人大学生の海外留学の促進と福岡の国際競争力の強化を目的として、国際社会で活躍できるグローバル人材を福岡へ定着させるため、海外留学を希望し、大学卒業後に福岡で就職・創業を目指す日本人大学生に奨学金を貸与した。

- ・貸与金額 最大1,200,000円／年
（留学先及び期間により異なる。福岡で創業または就職した場合は返還免除）
- ・貸与人数 6名

エ 留学生研修及び交流会（196千円）

（ア）留学生福岡定着事業

日本人大学生留学奨学金受給者の福岡での就職・創業を促進するため、留学前研修、帰国後報告会のほか、就職活動・創業支援に関する情報提供、先輩奨学生との交流会等を実施した。

	開催日	対象者	参加者数
留学前研修	令和6年 7月25日	日本人奨学生（第11期）	6名
留学報告会	令和6年10月 2日	日本人奨学生及び大学関係者等	25名
卒業生講話	令和7年 2月26日	日本人奨学生及び外国人奨学生 （国際財団奨学生、育英奨学生）	8名

(イ) 奨学生研修・交流会

福岡市国際財団奨学金、留学生育英奨学金の受給者も含め、奨学生全員が一堂に会する機会を創出し、奨学生としての意識の向上を図るとともに、奨学生同士のつながりを構築・拡大する交流会を実施した。

開催日	対象者	参加者数
令和6年7月25日	日本人奨学生及び外国人奨学生（国際財団奨学生、育英奨学生）	19名

(ウ) 奨学生報告会

開催日	対象者	参加者数
令和7年3月7日、18日	国際財団奨学生及び大学関係者	18名

オ 留学生の就職支援（留学生と企業の交流サロン）（496千円）

福岡で就職を希望する留学生を対象に、就職活動に必要な知識等の啓発及び地元企業と留学生の交流を行うことにより、留学生の就活支援及び福岡への定着を図る目的で実施。

令和5年度に引き続き、令和6年度も、第1部：就活応援セミナー、第2部：企業との意見交換会、第3部：交流会の3部構成で実施した。

- ・実施日 令和6年12月4日
- ・参加者数 留学生56名、企業26社32名
- ・共催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団
福岡・大連未来委員会
(一社)福岡県中小企業家同友会
福岡経済同友会国際委員会
- ・後援 福岡県留学生サポートセンター運営協議会

(3) 事業報告の附属明細書

記載すべき事項は、ありません。

【理事会及び評議員会の開催状況等】

会議名	開催日	内 容
理事会	R6.4.1	議案審議（決議の省略による） ・理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦に関する件 ・監事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦に関する件 ・評議員会の開催に関する件
評議員会	R6.4.1	議案審議（決議の省略による） ・理事の選任に関する件 ・監事の選任に関する件
理事会	R6.4.1	議案審議（決議の省略による） ・専務理事選定に関する件
理事会	R6.5.30	議案審議 ・令和5年度事業報告及び決算に関する件 ・令和4年度決算における過去の誤謬の修正再表示にかかる財務諸表に対する注記への記載に関する件 ・定時評議員会の開催に関する件
評議員会	R6.6.27	報告 ・令和5年度事業報告及びその附属明細書に関する件 ・令和6年度事業計画及び収支予算に関する件 ・建物修繕積立資金の使途の拡大（目的外使用）の件 ・特定資産（経営安定化資金）の保有に関する件 ・「役員賠償責任保険」の令和6年度契約締結に関する件 ・中期経営方針の中間評価に関する件 議案 ・令和5年度貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録に関する件 ・令和4年度決算における過去の誤謬の修正再表示にかかる財務諸表に対する注記への記載に関する件
理事会	R7.3.17	議案審議 ・令和7年度事業計画及び収支予算（案）等に関する件 ・「役員賠償責任保険」の令和7年度契約締結に関する件